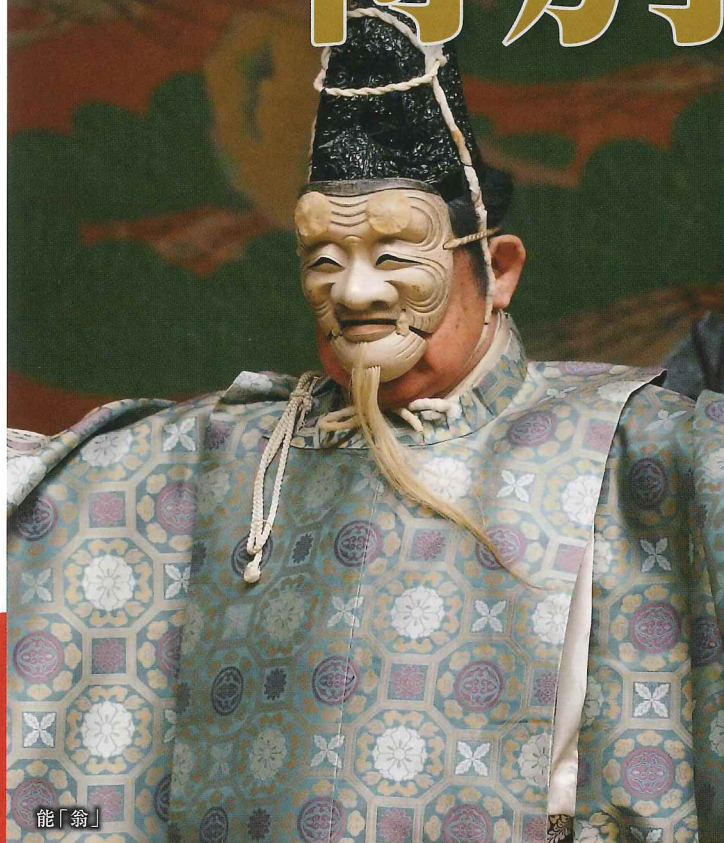


名古屋
能楽堂

正月

Nagoya Noh Theater

特別公演



能

「楊貴妃」台留（観世流）
シテ 久田三津子

狂言

「千鳥」（和泉流）
シテ 井上松次郎

能

「翁」（観世流）

おきな
翁 久田 勘鷗
千歳 吉沢 旭
三番叟 奥津健太郎

草雉の剣を祀る熱田神宮はピンチの時の守り神です。
玄宗皇帝が日本侵攻を企てた時には楊貴妃となってこれを阻止。
織田信長も桶狭間の合戦を前に祈願し勝利を得ました。
信長が駆け抜けた清洲から熱田への道、
そして同じく信仰していた「千鳥」ゆかりの津島神社への道は、
名鉄電車で行くことができます。

〈名古屋鉄道〉

— 鉄道開業一五〇年によせて —

鉄道で訪ねる
能・狂言
ゆかりの地

令和5年

1月3日(火)

13:00開演 (12:00開場)

※能「翁」開演後30分間は入退場できませんのでご注意ください。

指定席 5,200円
自由席 (一般) 4,200円
自由席 (学生) 2,000円

10月14日(金)より
前売券発売

主催



公益財団法人 名古屋市文化振興事業団 [名古屋能楽堂]

公益社団法人 能楽協会 名古屋支部



※能「翁」開演後30分間は入退場できませんのでご注意ください。

能 翁 観世流

翁 千歳
三番叟
面箱持
笛
脇鼓
小鼓頭取
脇鼓
大鼓

久田 勘鷗
吉沢 旭
奥津健太郎
伊藤 泰

竹市 学
荒木 建作
久田舜一郎
清水 和音
河村裕一郎

後見 祖父江修一 下川 宜長

狂言後見 野村又三郎 松田 高義

地謡 山中 雅志 伊藤 裕貴

山田 義高 笠田 昭雄 本田 勲

独鼓 嵐山(観世流)

大鼓 加藤 洋輝
伊藤 裕貴

休憩(十分)

狂言 千鳥(和泉流)

シテ 太郎冠者 井上松次郎
アト 主人 佐藤 友彦
アト 酒屋 鹿島 俊裕

後見 今枝 郁雄

能 楊貴妃(観世流)

シテ 楊貴妃の霊 久田三津子
ワキ 方士 飯富 雅介
アト 所者 今枝 郁雄

後見 竹市 学

小鼓 後藤嘉津幸

大鼓 河村眞之介

地謡 山中 雅志 本田 勲

下川 宜長 笠田 昭雄 山田 幸親

(午後四時三十分頃終了予定)

「イヤホン・ガイド」

◆能「翁」

日本語/米田 真理

英語/藤江さお里(通訳ガイド)

◆能「楊貴妃」

日本語/伊藤 利香(名古屋能楽堂 イヤホンガイド)

◆能解説「翁」(おきな)

新春、切火で清められた舞台上、深齋をすませた演者が、面箱・翁・千歳・三番叟と続いて全員が登場する。
「切火」とは、この場合、幕際から火打石で火を飛ばすこと。後見の役割。清新の気が漲る。
翁は狩衣、指貫、面箱・千歳・三番叟は侍烏帽子に直垂。唯子・地謡などは侍烏帽子に素襦を着る。
「翁」の舞は三部から成り立っていて、最初の千歳は「鳴るは滝の水」と謡い出し、若々しく飄爽とした舞。次に翁の面を舞台上でつけたシテは祈禱的な意味合いを持つ重厚な舞を舞う。その中で、角・脇座前中央で三回ずつ拍子踏を踏む。これを「天地・人の拍子」と称する。翁と千歳の退場の際、三番叟の賑やかな舞となる。はじめの部分を一採一段、黒式尉の面をつけ、鈴を持った後半部の舞を「鈴之段」と称する。

天下泰平、国土安穩を祈る儀式能。
新年の翁。それはさわやかな日本の新春。

◆狂言解説「千鳥」(ちどり)

主人から掛け買いのツケで酒を買って来いと命じられた召使いは、汝々酒屋へ出向きますが、これまでの支払いも滞っているため酒屋もなかなか酒を渡しません。そこで召使いは津島祭の話を取り、子ども達が千鳥を捕る様子や流籠馬で馬を操る仕事を調子よく唯しなから酒屋の亭主の気を油断させて、その隙に酒樽を持ち去ろうと試みますが...

あの手この手で何とか酒を手中に収めようとする唯子謡を用いて駆け引きに奮闘する召使いの、軽妙かつ緩急を付けた演技が見どころです。
津島祭愛知県津島市/天王祭とも。の基点となる津島神社は、かつては伊勢語と一対で参拝する事が常とされており、東海道から陸路(佐屋街道)または海路(渡し舟)を経て往來の賑わいを見せられておりました。祭事として長い歴史を持ち、稚児神楽や宵祭・朝祭など、当時から知名度の高い祭礼の一つであった事が本曲からも伺えます。(井上松次郎)

◆能解説「楊貴妃」(ようきひ)

唐の玄宗皇帝は寵愛の楊貴妃を馬嵬が原で殺されたので、深く嘆いて、方士に魂魄のありかを尋ねさせた。方士は天上天下尋ね歩いた後、常世の国蓬莱宮に渡って、太真殿に貴妃のいることを知り、早速勅使としてお会いする。貴妃は美しい姿に寂しさを帯び、玉の簾を上げて方士に会った。今回「玉簾」という小書により、仙界の太真殿をあらわす作り物の小宮の周りに桐箔の簾帯を数多くたらし、「九華の帳を押し除けて、玉の簾をかかげつつ、立ち出で給う御姿」という本文に照応させた演出である。

方士が貴妃に会った証に形見の品を頂きたいと言ったと、頭にして玉のかんざしを与えたが、これは世に類のある品だから、帝と貴妃と人知れず契られたお言葉があれば承りたいと言った。貴妃は七夕の夜、玄宗皇帝と誓った「天に在らば願わくば比翼の鳥とならん、地に在らば願わくば連理の枝とならん」と契りを交わしたと打ち明ける。やがて方士が帰ろうとすると、その夜の舞である霓裳羽衣の曲を舞って見せる。方士はやがて都へ帰り、貴妃は涙ながら宮の中にとどまった。
楊貴妃は、西洋のクレオパトラと東洋の代表的美人小野小町と並び称された。

- 止むを得ず曲目、出演者等が変更となる場合があります。
- 上演中の写真撮影・ビデオ撮影・録音は事前許可を受けた方以外はご遠慮ください。

正月特別公演事前学習講座 12月17日(土) 14:00~16:00

受講チケット500円
◆能「翁」「楊貴妃」のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。
※事前学習講座のチケットは、名古屋市文化振興事業団の管理する文化施設窓口にて取り扱いをしております。

チケット料金(税込)		*前売券発売日 令和4年10月14日(金)	
指定 Reserved	自由 Non reserved		
	一般 Adult	学生 under 25 years old	Student
5,200円	4,200円	2,000円	

*学生券は25歳以下を対象とします。*未就学児のご入場はお断りいたします。
*チケットは1回につき4枚までの販売とさせていただきます。

*事業団友の会会員・障がい者手帳等をお持ちの方(付添者1名含む)は400円引きです。(前売りのみ。学生券の割引はありません。)
(名古屋能楽堂・事業団チケットガイド・事業団施設窓口のみ。各割引の併用はできません。)

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂/TEL.052-231-0088
*前売券発売当日は、お電話がつながりにくいことがあります。
名古屋市文化振興事業団チケットガイド/TEL.052-249-9387
(平日9:00~17:00/チケット郵送可)
名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口<土日祝日も営業>でもお求めいただけます。
(工事休館などがありますので、ホームページでご確認ください。)
チケットぴあ/Pコード515-156)

*外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも割引致します。(名古屋能楽堂取扱いのみ)
Discount is available by showing passport or other proof of foreign nationality. (at Nagoya Noh Theater only)

お問い合わせ先/名古屋能楽堂 TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756



【感染予防への取り組みとお願い】

- ◎感染予防のため、ご来館の際はマスクを着用ください。マスクを着用でない方の来館はお断りします。
- ◎入場時の検温にご協力をお願いします。37.5度以上の場合の入場をお断りします。
- ◎チケットの半券にお名前と連絡先電話番号をご記入ください。ご記入いただきました個人情報は、新型コロナウイルス感染者が発生した場合など必要に応じて保健所等の公的機関へ提供されます。一定期間経過後に適切に破棄させていただきます。
- ◎指定席は間隔を空けた市松模様状に配置しております。自由席はお客様同士が隣り合う場合があります。
- ◎本公演は名古屋市の「文化施設における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき実施いたします。ガイドラインに基づいた対策にご理解・ご協力をお願いいたします。

公演についての最新の情報は名古屋能楽堂ホームページをご覧ください。



https://www.bunka758.or.jp/facility/nougakudo/